

日本共産党区議会議員

こんにちは
伊藤和彦です

自宅 足立区花畑6-20-1 電話3859-6952
足立区役所 電話3880-5111(内線4650~4654)
日本共産党区議団 直通3880-5770
<http://www5.familie.ne.jp/~k-itou/index.html>

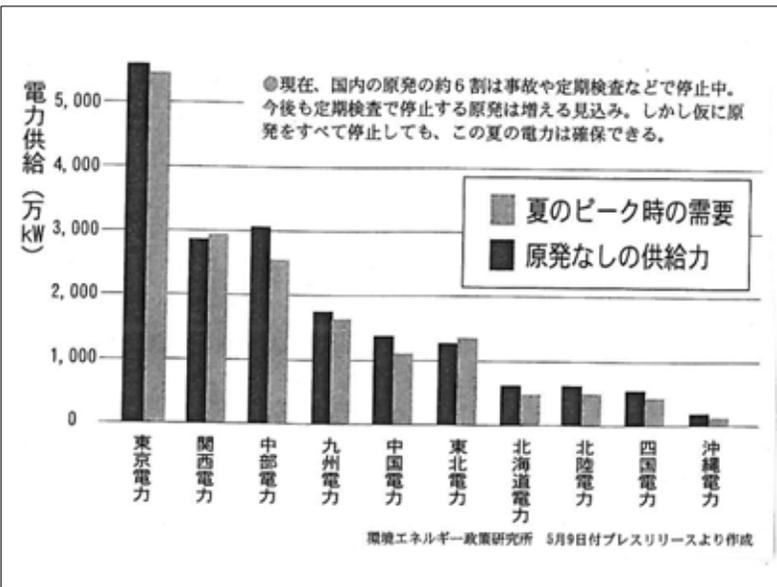
原発ゼロ・自然エネルギーに転換を

原発なしで電力は足りるのか？

「原発はなくなって欲しいと思
うが電力が足りなくなるので
は？」 かなり多くの方が
聞かれます。

本当はどうなのでしょう、
調べて見ました。結論は「原
発をすべて停止しても電力は
不足しない」でした。

その1、左の図をご覧ください
下さい。夏のピーク時の電
力需要が網目の棒グラフです。
それに対して原発なしの電
力供給力が黒の棒グラフです。
関西電力以外は黒のほうが上
回っています。つまり現在で



も原発なしで電力は不足しないというこ
とです。

4割を原発に依存してき
た関西電力は原発をすべて
止めるとこれまでの需用を満
たすことはきびしい状況です
が、エリア内の節電を行うこ
とで今後の電力供給は足りる
と思われま(環境エネルギー
政策研究所・松原弘直さん、
グラフも)。



故や定期点検などで6割が停止中なので発電量は2000万キロワット弱)。つまり自家発電だけでは不要となるといふことです。

その3、家庭の使用率は3割

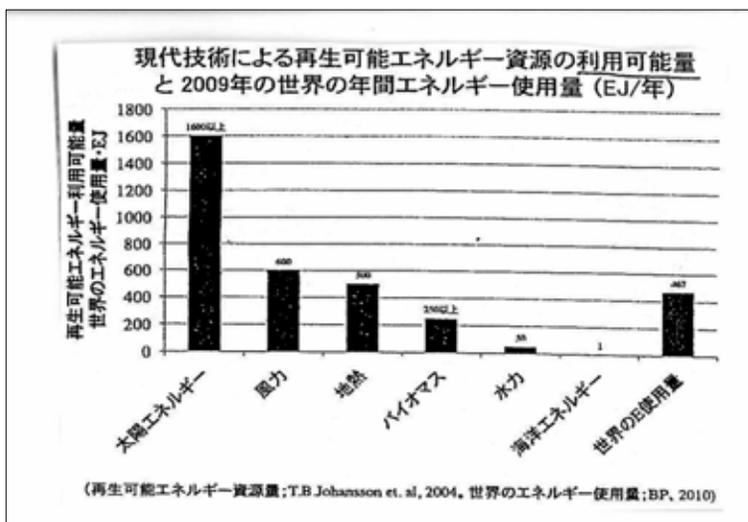
電氣を使っているのは産業(工場)が3割、オフィスが4割で全家庭でも3割です。電氣の使用率がピークになるのは昼ですがそれはオフィスがピークになるからです。産業は朝から晩まで一定です。家庭は夕方以降です。つまり産業とオフィスが日中節電すればピークも抑えられるのです。

「原発は安い」はうそ

水力7・26円、火力9・90円に對して原子力は10・68円と高額

調べた中では「原発は安い」はうそです。自然エネルギーは、世界のエネルギー使用量を上回る量の発電が可能で安

価で安全で、雇用も拡大、まちおこしにもなっていることが専門家の調査で明らかになっています。左の表のように(円・KWh)、原発は水力や火力よりも高いのです。右の数字は原発に特有の「バックエンド費用(発電後の放射性廃棄物の処理のための費用)」や、事故に伴う補償費用は含まれていませんので、それを含めればもっと高くなります。



自然エネルギーを本格的に導入・普及するためには、ドイツで成功しているように、自然エネルギーによる電力を経済的に成り立つような、優遇価格で買い取る「固定価格買取制度」を本格的に導入することが必要です。

ドイツではこの「固定価格買取制度」では、自然エネルギー普及のために一家庭で月200~300円程度を負担しています。

ドイツ全土で6000億円程度です。日本は人口や発電量はドイツの1・5倍程度であり、現在の原発推進費用の6500億円程度で自然エネルギー普及費用を賄うことも可能です。

原発優遇措置をそのままにして、自然エネルギー導入のコストはすべて電気料金に乗せし、利用者に負担させようという枠組みは不当です。

原発優遇措置をそのままにして、自然エネルギー導入のコストはすべて電気料金に乗せし、利用者に負担させようという枠組みは不当です。

自然エネルギー買取費用は原発推進費用と同程度しかも自然エネルギーは拡大すればコストは削減

現在のわが国の原発推進費用は6500億円です。

「2面につづく」

